

PAT-NO: JP408076778A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08076778 A
TITLE: ADVERTISEMENT VIDEO REPRODUCING DEVICE IN REQUEST
TYPE VIDEO PROVIDING SYSTEM
PUBN-DATE: March 22, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
AOYAMA, YASUTADA	
URANO, TAKAYOSHI	

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK EKUSHINGU	N/A
BROTHER IND LTD	N/A

APPL-NO: JP06212651
APPL-DATE: September 6, 1994

INT-CL (IPC): G10K015/04 , G09G005/00 , G11B027/34 , H04N007/16

ABSTRACT:

PURPOSE: To provide a video KARAOKE system constituted in such a manner that interrupted advertisement videos are continuously displayed from the first to the last at the time of the next and subsequent reproduction and that a publicity effect as advertisement is sufficiently exhibited.

CONSTITUTION: An advertisement video is displayed on a monitor television 56 when playing of KARAOKE music and reproducing of background video is not executed with this video KARAOKE system. The reproduction and display of the advertisement video are suspended and the playing of the KARAOKE music and the reproducing of the background video are executed when a request is inputted to the

system. The information on the advertisement video with which the previous reproduction is interrupted is taken out of a memory 43 and the advertisement video with which the previous reproduction is interrupted is reproduced from the beginning again when the playing of the KARAOKE music has ended.

COPYRIGHT: (C)1996,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-76778

(43)公開日 平成8年(1996)3月22日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 1 0 K 15/04	3 0 2 D			
G 0 9 G 5/00	5 1 0 B	9377-5H		
	Q	9377-5H		
G 1 1 B 27/34	P	9369-5D		
H 0 4 N 7/16	Z			

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平6-212651

(22)出願日 平成6年(1994)9月6日

(71)出願人 593118601

株式会社エクシング

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地

(71)出願人 000005267

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15番1号

(72)発明者 青山 泰忠

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地 株式会社エクシング内

(72)発明者 浦野 隆好

愛知県名古屋市昭和区桜山町6丁目104番地 株式会社エクシング内

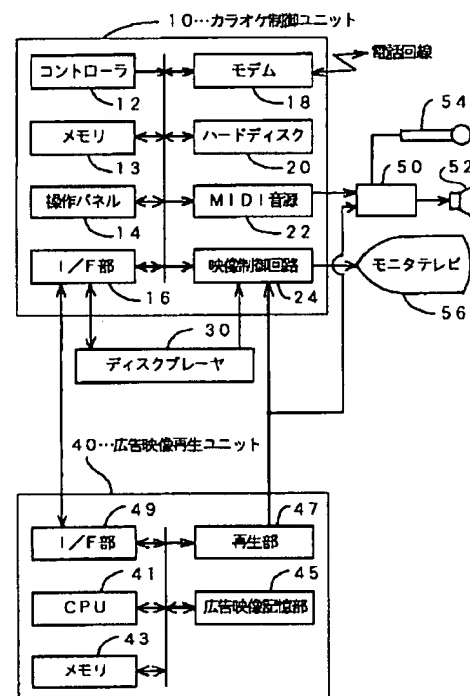
(74)代理人 弁理士 足立 勉

(54)【発明の名称】 リクエスト型映像提供システムにおける広告映像再生装置

(57)【要約】

【目的】 中断された広告映像については、次回以降の再生時において最初から最後まで連続して表示するようにし、広告としての宣伝効果を十分に発揮できるようにした映像カラオケシステムを提供する。

【構成】 本映像カラオケシステムは、カラオケ曲の演奏・背景映像の再生が行われていないとき、広告映像がモニタテレビ56に表示されている。リクエストが入力されると、広告映像の再生・表示が中止され、リクエストに基づいたカラオケ曲の演奏・背景映像が再生される。カラオケ曲の演奏等が終了すると、メモリ43から前回再生を中断した広告映像に関する情報を取り出し、前回再生が中断した広告映像を再度先頭から再生する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 リクエストに応じた所定のメイン映像を表示手段に表示するリクエスト型映像提供システムにおいて、上記リクエストに応じたメイン映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して上記表示手段に表示させる広告映像再生装置であって、

所定長さの広告映像を複数記憶しておく広告映像記憶手段と、

上記メイン映像の表示予定がない場合には広告映像再生指令を出力し、リクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力する再生・停止指令手段と、

該再生・停止指令手段によって広告映像再生指令が入力された場合には、上記広告映像記憶手段に記憶された広告映像を所定の順番に従って順次再生し、一方、広告映像停止指令が入力された場合には、その時点で広告映像の再生を即座に停止する映像再生手段と、

上記広告映像停止指令に基づく上記映像再生手段の映像停止処理によって再生が中断された広告映像がある場合には、その属性情報を一時的に記憶する中断広告記憶手段と、

該中断広告記憶手段に再生が中断された広告映像の属性情報が記憶されている場合には、上記映像再生手段による次の広告映像再生時に、再度その中断広告映像の最初から再生を開始させる映像再生制御手段と、
を備えたことを特徴とする広告映像再生装置。

【請求項2】 上記リクエスト型映像提供システムは、リクエストされたカラオケ曲に対応する所定の背景映像を上記表示手段に表示するカラオケ用背景映像再生システムとして構成され、上記リクエスト曲に応じた背景映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して上記表示手段に表示させる上記請求項1記載の広告映像再生装置であって、

上記再生・停止指令手段は、リクエスト曲の予約がない場合には広告映像再生指令を出力し、曲のリクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力するように構成されたことを特徴とする広告映像再生装置。

【請求項3】 上記映像再生制御手段は、最後まで再生されることなく所定回数連続して中断された同一の広告映像がある場合には、上記映像再生手段による次の広告映像再生時に、その中断広告映像に限っては、上記メイン映像より優先して最初から最後まで再生し終えるようにすることを特徴とする上記請求項1記載の広告映像再生装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、例えば、利用者により随時利用される映像カラオケシステムや公衆街頭端末システム等のリクエスト型映像提供システムに適用され、メインの映像を表示していない間に所定の広告映像を再生する広告映像再生装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来、映像カラオケシステムや公衆街頭端末システム等の利用者からのリクエストに対応した映像を提供するシステムが知られている。これらのシステムは利用者のリクエストに応えることを目的としているため、リクエストが連続してあれば、そのリクエストに対応した映像（以下メイン映像と称す）が連続して表示されるが、リクエストがなければメイン映像は表示されない。

【0003】 そのため、例えば映像カラオケシステムでは、そのメイン映像（リクエスト曲に応じた背景映像）が表示されない期間については、つなぎ用の映像を表示させておき、リクエストがあると即座にメイン映像に切り替えるようにするものがあった。このつなぎ用映像は、何も表示しないと単にブルーバックの画面になってしまうのを防ぐために表示させていただけである。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 このようなメイン映像が表示されない期間を利用して、所定長さの広告映像を表示することが考えられる。例えばテレビ広告と同じように15秒や30秒程度の長さの広告映像である。

【0005】 しかしながら、この広告映像は、あくまでメイン映像が表示されない期間に表示するものであり、メイン映像のリクエストがあった場合（カラオケシステムでは曲がリクエストされた場合）には、即座にそちらの映像再生に移行しなければならないので、途中でであっても広告映像の再生を中断してしまわなければならない。

【0006】 上記「つなぎ」用の映像は、それ自体がリクエスト曲とは特別な関係のない映像であるため、どこで中断されても何等問題はないが、広告映像の場合には一連のストーリー映像であり、最後まで内容を表示して視聴者（カラオケ利用者等）に見せることで初めて、広告として十分な宣伝効果を得ることができるのである。そのため、途中で中断されることは、広告としての意味を低減させてしまう。例えば広告の提供主体や広告したい客体（例えば製品の名称等）が最後の方の表示されるようなストーリー展開である場合に、その広告提供主体や客体が表示される前に中断してしまうと、宣伝価値がほとんどなくなってしまうこともある。

【0007】 但し、そうはいっても通常のテレビ広告のように予め映像を再生する時間が確保されているものではなく、このような広告映像はあくまでメイン映像の表示されない期間を利用したものであるため、最初から広告映像を優先して表示させることは本末転倒である。つまり、カラオケシステムの場合を例にとれば、リクエストをしたが、広告映像の再生が始まっているので、その広告映像の再生が終るまで本来の目的であるカラオケ曲の演奏・背景映像の再生が行われないことになるのは好ましいことではない。

【0008】本発明は、このような問題点を解決するためになされたものであり、メイン映像を表示していない間を利用して広告映像を表示する際、中断された広告映像については、次回以降の再生時において最初から最後まで連続して表示するようにし、広告としての宣伝効果を十分に発揮できるようにした広告映像再生装置を提供することを目的とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために成された請求項1記載の発明は、図5の基本構成図に例示するように、リクエストに応じた所定のメイン映像を表示手段に表示するリクエスト型映像提供システムにおいて、上記リクエストに応じたメイン映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して上記表示手段に表示させる広告映像再生装置であって、所定長さの広告映像を複数記憶しておく広告映像記憶手段と、上記メイン映像の表示予定がない場合には広告映像再生指令を出力し、リクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力する再生・停止指令手段と、該再生・停止指令手段によって広告映像再生指令が入力された場合には、上記広告映像記憶手段に記憶された広告映像を所定の順番に従って順次再生し、一方、広告映像停止指令が入力された場合には、その時点で広告映像の再生を即座に停止する映像再生手段と、上記広告映像停止指令に基づく上記映像再生手段の映像停止処理によって再生が中断された広告映像がある場合には、その属性情報を一時的に記憶する中断広告記憶手段と、該中断広告記憶手段に再生が中断された広告映像の属性情報が記憶されている場合には、上記映像再生手段による次の広告映像再生時に、再度その中断広告映像の最初から再生を開始させる映像再生制御手段と、を備えたことを特徴とする広告映像再生装置である。

【0010】一方、請求項2に記載の発明は、上記リクエスト型映像提供システムは、リクエストされたカラオケ曲に対応する所定の背景映像を上記表示手段に表示するカラオケ用背景映像再生システムとして構成され、上記リクエスト曲に応じた背景映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して上記表示手段に表示させる上記請求項1記載の広告映像再生装置であって、上記再生・停止指令手段は、リクエスト曲の予約がない場合には広告映像再生指令を出力し、曲のリクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力するように構成されたことを特徴とする広告映像再生装置である。

【0011】また、請求項3に記載に発明は、上記映像再生制御手段は、最後まで再生されることなく所定回数連続して中断された同一の広告映像がある場合には、上記映像再生手段による次の広告映像再生時に、その中断広告映像に限っては、上記メイン映像より優先して最初から最後まで再生し終えるようにすることを特徴とする上記請求項1記載の広告映像再生装置である。

【0012】

【作用および発明の効果】上記のように構成された請求項1記載の広告映像再生装置は、リクエストに応じた所定のメイン映像を表示手段に表示する。そして、広告映像記憶手段が所定長さの広告映像を複数記憶しており、再生・停止指令手段が、メイン映像の表示予定がない場合には広告映像再生指令を、またリクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力する。映像再生手段は、上記広告映像再生指令が入力された場合には、広告映像記憶手段に記憶された広告映像を所定の順番に従って順次再生し、一方、広告映像停止指令が入力された場合には、その時点で広告映像の再生を即座に停止する。したがって、メイン映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して表示手段に表示させることができる。

【0013】ここで、上記広告映像停止指令に基づく映像再生手段の映像停止処理によって再生が中断された広告映像がある場合には、中断広告記憶手段がその属性情報を一時的に記憶する。そして、映像再生制御手段が中断広告記憶手段に再生が中断された広告映像の属性情報が記憶されている場合には、映像再生手段による次の広告映像再生時に、再度その中断広告映像の最初から再生を開始させる。

【0014】このように、メイン映像の表示の間を利用して広告映像を表示させるのであるが、メイン映像に対するリクエストが入力された場合には広告映像の再生を即座に停止するため、メイン映像の提供を妨げることがない。そして、リクエスト入力時に即座に再生中止することで広告映像の再生が途中で終わってしまうことがある。このように中断された広告映像については、次の広告映像再生時に、再度その中断広告映像の最初から再生を開始させるようにしているため、その広告映像については最初から最後まで連続して表示される可能性が高くなり、広告として十分な宣伝効果を得ることができるのである。

【0015】つまり、広告映像の再生が中断された場合に、次の再生時にその中断された時点から再生しても、広告としての宣伝効果が薄くなってしまいうので、最初から最後まで連続して再生することが必要である。また、複数の広告映像を順番に再生していく際、中断した広告映像については無視し、次の再生時にはその中断したものの次の広告映像から再生していくことも考えられる。しかし、上記中断した広告映像が再度再生されるまでには一巡するのを待たなくてはならず、またタイミングによっては次の再生時にも中断する可能性もある。

【0016】したがって、本発明のように、次の広告映像再生時には、その中断された広告映像を優先して最初から再生を開始させるので、最初から最後まで連続して再生される可能性が最も高くなるのである。上記リクエスト型映像提供システムとしては、例えば請求項2に

示すように、リクエストされたカラオケ曲に対応する所定の背景映像を表示手段に表示するカラオケ用背景映像再生システムとして構成することが考えられる。この場合には、リクエスト曲に応じた背景映像を表示していない間に所定の広告映像を再生して表示手段に表示させるものであって、再生・停止指令手段は、リクエスト曲の予約がない場合には広告映像再生指令を出力し、曲のリクエストが入力された場合には広告映像停止指令を出力する。

【0017】複数曲のリクエストを予約しておくことができるカラオケシステムの場合、現実的な使用状況を鑑みると、一度に複数曲をリクエスト予約したり、逆にしばらくリクエストをしない状態が生じたりする。予約がある場合には続けてカラオケ曲用の背景映像が再生されるので、広告映像は再生しない。そして、リクエストがなくなった時点で広告映像の再生を開始する。もちろん、この再生の途中でリクエストがあれば即座に中断して背景映像の方を優先して再生する。

【0018】上述したように、広告映像はあくまでメイン映像の表示されない期間を利用したものであり、基本的にはメイン映像が優先されることが好ましい。但し、場合によっては、同一の広告映像が続けて何回も中断することがある。例えば上述のカラオケシステムの場合では、1本の広告映像の長さよりも短いインターバルでリクエストを繰り返した場合には、広告映像の最初の部分だけが何度も再生されて、一度も最後まで再生されない状態が続いてしまうことになる。その場合、何度も同じ広告映像にばかり再生時間が費やされ、他の広告映像が全く再生されないこととなる。

【0019】そのような不都合までも考慮したのが、請求項3に示すものである。この場合には、映像再生制御手段は、最後まで再生されることなく所定回数連続して中断された同一の広告映像がある場合には、映像再生手段による次の広告映像再生時に、その中断広告映像に限っては、メイン映像より優先して最初から最後まで再生し終える。例えば、2回連続して中断した場合には、3回目には最初から最後まで再生し終えるのである。

【0020】例えば、1本の広告映像の長さが15秒とし、その長さよりも短い例えば10秒のインターバルでリクエストを繰り返した場合には、広告映像の最初の10秒だけが何度も再生されて次の広告映像に移らない。この場合、3回目にはリクエストがあっても15秒分全て再生し終えてからメイン映像を再生する。基本的にはメイン映像を優先するのが好ましいが、この例ではメイン映像が待たされるのが5秒程度でそれも3回に1度の割合なので現実的にも許容範囲と考えられる。極端な例を挙げると、10秒のインターバルで30回リクエストを繰り返した場合にでも同じ広告映像の最初の10秒分しか再生されなかったのが、このように3回目には全部再生するようにすれば、30回のリクエストで10個の

広告映像が再生されることとなる。このように、基本的にはメイン映像を優先しながら、バランスを考慮した上で例外的に広告映像も適宜優先させることで、リクエスト型映像提供システムにおける広告映像再生装置としての実効性を向上させることができる。

【0021】

【実施例】以下、本発明を具体化した一実施例を図面を参照して説明する。図1は、広告映像再生装置をリクエスト型映像提供システムとしていわゆる映像カラオケシステムに適用した場合の概略構成を示すブロック図である。図1に示す通り本システムは、カラオケ制御ユニット10、ディスクプレーヤ30、広告映像再生ユニット40、アンプミキサ50、スピーカ52、マイク54、表示手段としてのモニタテレビ56などを備えている。

【0022】このシステムにて利用者は、カラオケ制御ユニット10を操作することで歌いたい曲を選択する。なお、この選択された曲は所定数までカラオケ制御ユニット10内の予約テーブルに記憶させることができ、その予約順番に従って、カラオケ曲が演奏されることとなる。カラオケ制御ユニット10には、曲データとして歌詞データおよび演奏データが格納されており、曲が選択されると、カラオケ制御ユニット10はこれら歌詞データおよび演奏データを同期させて出力する。最終的に利用者は歌詞を参照しながら演奏に合わせて歌を歌うことになる。

【0023】カラオケ制御ユニット10から出力される演奏データは、アナログの演奏信号に変換された後、アンプミキサ50へ送られて電氣的に増幅されるとともに、マイク54を介して入力する利用者の歌声と適度な割合でミキシングされる。ミキシングされた音声信号は、スピーカ52により演奏音として外部へ出力される。

【0024】一方、演奏データと同期してカラオケ制御ユニット10により出力される歌詞データは、ディスクプレーヤ30から送られるNTSC映像信号と合成（スーパーインポーズ）されてモニタテレビ56に表示される。ディスクプレーヤ30から送られるNTSC映像信号は、ディスクプレーヤ30により映像再生ディスクを再生することで生成される。

【0025】次に、カラオケ制御ユニット10の内部構成についてさらに説明する。図1に示す通り、カラオケ制御ユニット10は、コントローラ12、メモリ13、操作パネル14、インタフェース（I/F）部16、モデム18、ハードディスク20、MIDI音源22、映像制御回路24などを備えている。

【0026】コントローラ12は、カラオケ制御ユニット10を制御するためのマイクロコンピュータであり、利用者により曲が選択された場合、その曲のジャンルをディスクプレーヤ30に送信したり、曲の演奏が進行されるのに応じてハードディスク20から曲データ（演奏

データ及び歌詞データ)を読み出し、MIDI音源22へ演奏データを、映像制御回路24へ歌詞データを送ったりする等の制御を行う。また、後述する広告映像の再生開始指令および再生停止指令を広告映像再生ユニット40に送出する制御も行なう。

【0027】操作パネル14は、利用者が歌いたい曲を選択したり、演奏音の音程を調整したりするための操作パネルである。また、操作パネル14に対しては図示しないリモコンを介して、利用者が遠隔で選曲などの操作ができる。メモリ13は、操作パネル14を介して選択された曲を所定数まで記憶しておく予約テーブルを備えている。

【0028】I/F部16は、選択された曲のジャンルをディスクプレーヤ30に送信したり、広告映像の再生開始指令や再生停止指令を広告映像再生ユニット40に送信するためのものである。モデム18は、電話回線を介して送られてくる曲データを受信したり、どのような曲が演奏されているかといった情報を外部へ送信したりする際、通信路を通して伝送される信号の変調および復調を行う変復調装置である。本実施例のカラオケシステムでは、常に新しい曲が提供されている状態とするため、夜間に電話回線にて新曲のデータが、図示しないホストコンピュータからモデム18を介してカラオケ制御ユニット10に送られてきて、ハードディスク20に格納される。

【0029】ハードディスク20は、曲データとして演奏データと歌詞データとを格納する記憶装置である。演奏データとしてはMIDI規格に基づいたデータが格納されている。MIDI音源22は、各種楽器の演奏音を格納しており、ハードディスク20から送られる演奏データに基づき、楽器の演奏信号を生成する音源である。生成された楽器の演奏信号は、アンプミキサ50に送られる。

【0030】映像制御回路24は、ハードディスク20から送られる歌詞データと、ディスクプレーヤ30から送られる映像信号とを合成してモニタテレビ56に出力したり、広告映像再生ユニット40からの映像信号をモニタテレビ56に出力したりする装置である。

【0031】また、ディスクプレーヤ30はカラオケ制御ユニット10から送られる曲のジャンル情報に基づき、該当するジャンルの映像をNTSC映像信号としてカラオケ制御ユニット10へ送るものであり、ディスクプレーヤ30では映像再生ディスク(図示せず)を再生することにより映像信号が生成される。

【0032】次に、広告映像再生ユニット40の内部構成についてさらに説明する。図1に示す通り、広告映像再生ユニット40は、CPU41、メモリ43、広告映像記憶部45、再生部47、インタフェース(I/F)部49などを備えている。CPU41は、広告映像再生ユニット40を制御するためのマイクロコンピュータで

あり、I/F部49を介してカラオケ制御ユニット10から得たリクエスト予約状態等に基づき、広告映像記憶部45から広告映像を読み出して、再生部47を介して上記カラオケ制御ユニット10の映像制御回路24へ広告映像を送ったり、あるいは広告映像の再生を停止したりする等の制御を行う。

【0033】メモリ43はCPU41が使用するいわゆるワークエリアで、広告映像再生ユニット40の制御情報、後述する再生中断広告情報などを一時的に格納することができる。このメモリ43が本発明における中断広告記憶手段に該当する。広告映像記憶部45は複数の広告映像を格納するものであり、例えばアナログ記録方式でもデジタル記録方式でもよい。アナログ記録であれば、ディスクなどに音声と映像の情報を記憶しておき、デジタル記録であれば、静止画像または動画像広告をデジタル圧縮して記憶する。この広告映像記憶部45が本発明における広告映像記憶手段に該当する。

【0034】再生部47は広告映像記憶部45より読み出した広告映像あるいは音声をアナログの映像信号(例えばNTSC映像信号)に変換してカラオケ制御ユニット10の映像制御回路24へ出力したり、アナログの音声信号に変換してアンプミキサ50に出力したりする。

【0035】次に、このように構成された本システムの作動の内、広告映像の再生・停止制御に関する処理について、図2~4のフローチャートを参照して説明する。最初に、カラオケ制御ユニット10側における処理について図2を参照して説明する。まず、カラオケ演奏要求があるか否かを判断し(S110)、カラオケ演奏要求がある場合には(S110: YES)、該当するカラオケ曲の演奏処理および背景映像の再生処理を行なう(S120)。S110でのカラオケ演奏要求は、上述したように操作パネル14を介して利用者が歌いたい曲を選択すると、その選択情報が入力された時点で演奏要求が生じる。

【0036】また、カラオケ曲の演奏処理および背景映像の再生処理の概要を説明すると、選択された曲の曲データをハードディスク20から読み込んで、歌詞データおよび演奏データを同期させて出力する。カラオケ制御ユニット10から出力される演奏データは、アンプミキサ50へ送られて電氣的に増幅されるとともに、マイク54を介して入力する利用者の歌声と適度な割合でミキシングされ、ミキシングされた音声信号は、スピーカ52により演奏音として外部へ出力される。

【0037】一方、演奏データと同期してカラオケ制御ユニット10より出力される歌詞データは、ディスクプレーヤ30から送られるNTSC映像信号と合成されてモニタテレビ56に表示される。ディスクプレーヤ30から送られるNTSC映像信号は、ディスクプレーヤ30により映像再生ディスクを再生することで生成される。

【0038】なお、S120での演奏・映像再生処理中に新たな選曲がなされた場合には、メモリ13内の予約テーブルに記憶される。続くS130では、メモリ13内の予約テーブルを参照して予約曲がまだあるか否かを判断する。そして、予約曲がある場合には（S130：YES）、その予約順位の最も早い曲について演奏・映像再生処理が実行される（S120）。なお、S120での演奏・映像再生処理が実行された予約曲については予約テーブルから消去される。このようにして、予約曲が複数ある場合には、それらを順次演奏・映像再生していき、予約曲がなくなったら（S130：NO）、S110へ戻る。

【0039】一方、カラオケ演奏要求がない場合には（S110：NO）、S140へ移行し、広告映像再生ユニット40に再生開始指令を送出する。そして、カラオケ演奏要求があるか否かを判断し（S150）、演奏要求があった場合には（S150：YES）、広告映像再生ユニット40に再生停止指令を送出して（S160）、S120へ戻って演奏・映像再生処理を実行する。

【0040】このような処理によって、カラオケ制御ユニット10から広告映像再生ユニット40に再生開始指令あるいは再生停止指令が送出されるのであるが、次に、この再生開始指令および再生停止指令に基づき、広告映像再生ユニット40において実行される広告映像の再生・停止制御に関する処理を図3、4を参照して説明する。

【0041】まず広告映像再生ユニット40は電源投入後、初期化動作を行い（S210）、カラオケ制御ユニット10からの再生開始指令を待つ（S220）。このとき、再生開始指令をカラオケ制御ユニット10より受信すると、受信割り込みを許可する状態に設定し（S230）、まずメモリ46内のワークエリアを参照して、前回の再生時に途中で再生停止となった広告映像の情報（再生中断広告情報）があるか否かを調べる（S240）。この再生中断広告情報のワークエリアへの記憶については後述する。

【0042】電源投入直後等のように再生中断広告情報がワークエリアに存在しない場合には、所定の順番に従う広告映像を再生する（S260）。なお、再生中断広告情報がある場合には（S240：YES）、その再生中断広告情報に対応する広告映像を再生してから（S250）、所定の順番に従う広告映像の再生に移行する（S260）。

【0043】そして、その広告映像の再生が終了すると、複数ある広告映像の全てを再生したか否かを判断して（S270）、再生が終わっていない場合には、次の広告映像の再生を行なう（S260）。これは、複数ある広告映像（仮にn個とする）には1～nまでの番号が設定されており、再生する広告映像の番号をインクリメン

トすることによって、順番に広告映像を再生していくのである。また、S270で肯定判断、すなわち最後（n番）の広告映像の再生が終わった場合には、最初（1番）の広告映像から順次再生し直すように、再生する広告映像の番号を初期化して（S280）、S260へ戻る。

【0044】このようにして、カラオケ制御ユニット10から再生停止指令がくるまでは、1～n番の広告映像を順次繰り返しながら再生していくこととなる。そして、上記S250あるいはS260での広告映像再生中に、カラオケ制御ユニット10より再生停止指令が送られてくると広告映像の再生を停止するのであるが、これは図4に示す割り込み処理によって行われる。割り込み処理によって行なうのは、カラオケ制御ユニット10において選曲されて演奏の要求があった場合には、即座にそのカラオケ曲に演奏処理および背景映像処理を行なうために、広告映像の再生が途中であっても即座に停止するためである。

【0045】この割り込み処理では、まず広告映像の再生を停止する（S310）。そして、図3のS230で受信割り込みを許可する状態に設定していたものを、受信割り込みを禁止する状態に設定し（S320）、再生を停止した場合に中断してしまった広告映像がある場合にはその中断した広告映像に関する情報、例えばデジタル記録であれば広告ファイル名またレーザーディスクなどのアナログ記録であれば中断広告チャプターなどをメモリ45内のワークエリアに記憶する（S330）。その後、図3のS220へ移行し、カラオケ制御ユニット10からの再生開始指令を待つ。

【0046】再度、カラオケ制御ユニット10から再生開始指令を受信すると（S220：YES）、メモリ43内のワークエリアを参照し、前回再生を中断した広告映像に関する情報を取り出し、これに対応する広告映像を再度先頭から再生してから（S250）、S260の広告再生処理に移行する。

【0047】なお、本実施例においてはカラオケ制御ユニット10のコントローラ12が本発明の再生・停止指令手段に該当し、コントローラ12が実行する処理の内、図2が再生・停止指令手段としての処理に該当する。また、広告映像再生ユニット40のCPU41が本発明の映像再生手段および映像再生制御手段に該当し、CPU41が実行する処理の内、図3のS210～S230、S260～S280及び図4のS310、S320が映像再生手段としての処理に該当し、図3のS240、S250及び図4のS330が映像再生制御手段としての処理に該当する。

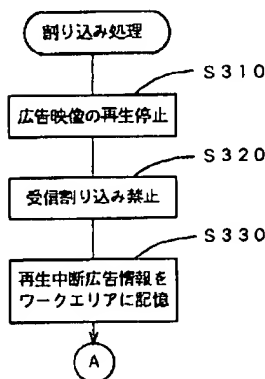
【0048】以上説明したように、メイン映像であるカラオケ曲の背景映像の表示の間を利用して広告映像を表示させるのであるが、カラオケ曲に対するリクエストが入力された場合には広告映像の再生を即座に停止するため、カラオケ用の背景映像の提供を妨げることがない。

【0049】そして、広告映像の再生が途中で終わってしまった場合には、次の広告映像再生時に、再度その中断広告映像の最初から再生を開始させるようにしているため、その広告映像については最初から最後まで連続して表示される可能性が高くなり、広告として十分な宣伝効果を得ることができるのである。

【0050】以上本発明はこの様な実施例に何等限定されるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲において種々なる態様で実施し得る。例えば、例外的に広告映像をカラオケ用背景映像よりも優先して再生する実施例について説明する。上述したように、広告映像はあくまでメイン映像であるカラオケ用背景映像の表示されない期間を利用したものであり、基本的にはその背景映像が優先されることが好ましい。但し、場合によっては同一の広告映像が続けて何回も中断することがある。例えば、1本の広告映像の長さよりも短いインターバルでリクエストを繰り返した場合には、同じ広告映像の最初の部分だけが何度も再生されて、一度も最後まで再生されない状態が続いてしまうことになる。その場合、何度も同じ広告映像にばかり再生時間が費やされ、他の広告映像が全く再生されないこととなる。

【0051】そのような不都合を考慮し、最後まで再生されることなく所定回数連続して中断された同一の広告映像がある場合には、次の広告映像再生時に、その中断広告映像に限っては、カラオケ演奏要求があっても、その背景映像より優先して最初から最後まで再生し終える。例えば、2回連続して同一広告映像が中断した場合には、3回目には最初から最後まで再生し終えるのである。このように、基本的にはカラオケ背景映像を優先しながら、バランスを考慮した上で例外的に広告映像も適宜優先させることで、リクエスト型映像提供システムとしてのカラオケシステムにおける広告映像再生装置としての実効性を向上させることができる。

【図4】



【0052】なお、リクエスト型映像提供システムとしてのカラオケシステムに限定されず、他にも、公衆街頭端末システム等が考えられる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本実施例の広告映像再生装置をリクエスト型映像提供システムとしていわゆる映像カラオケシステムに適用した場合の概略構成を示すブロック図である。

【図2】 広告映像の再生・停止制御に関してカラオケ制御装置で実行される処理を示すフローチャートである。

【図3】 広告映像再生ユニットにおいて実行される広告映像の再生・停止制御に関する処理を示すフローチャートである。

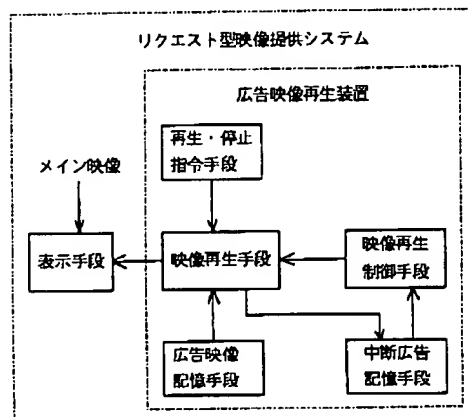
【図4】 広告映像再生ユニットにおいて実行される割り込み処理を示すフローチャートである。

【図5】 本発明の基本構成を例示するブロック図である。

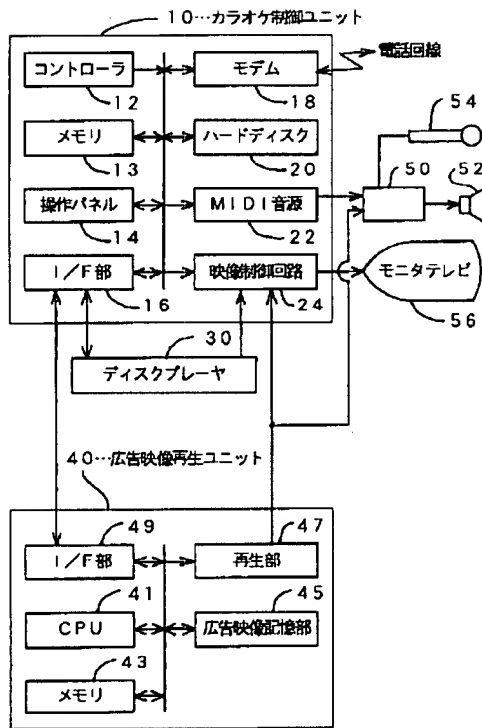
【符号の説明】

10…カラオケ制御ユニット	12…コントローラ
13…メモリ	14…操作パネル
16…I/F部	20…ハードディスク
22…MIDI音源	24…映像制御回路
30…ディスクプレーヤ	40…広告映像再生ユニット
43…メモリ	45…広告映像記憶部
47…再生部	49…I/F部
50…アンプミキサ	52…スピーカ
54…マイク	56…モニタテレビ

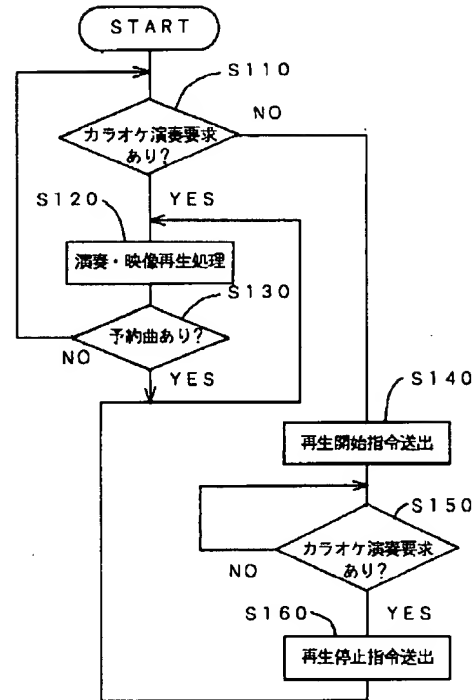
【図5】



【図1】



【図2】



【図3】

